

学校訪問シリーズ 57

大分市立松岡小学校から学ぶ
学校経営から学ぶ

学校の教育目標「豊かに学び、たくましく生きる児童の育成」を達成するため、「生きた知識・技能を身につけた児童」「自ら考え、判断し、行動できる児童」「ともに向上しようと挑戦を続ける児童」の育成を学校経営の重点として、知育、徳育、体育の3部会が毎月検証を行い、二ヶ月ごとに各指標を見直しています。既に目標を達成した項目は、最も肯定的な評価（4段階の4）を指標とする等、成長する組織となっています。

また、毎週火曜日は学年部会を実施し、学年の課題解決の方策だけでなく、授業力の向上にも取り組まれています。

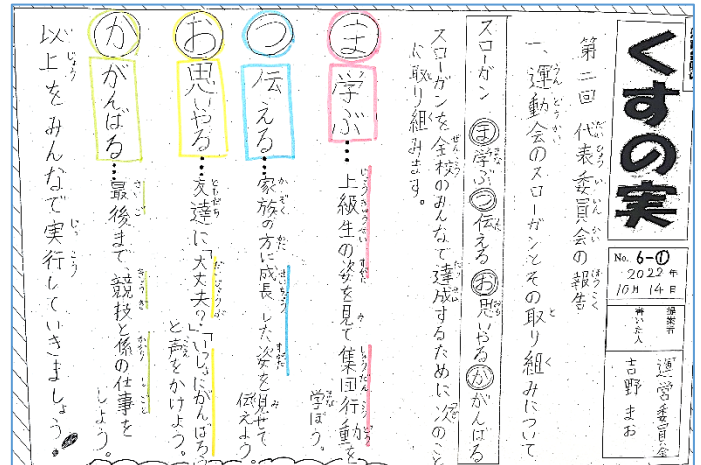
今後は、協議の際に出し合った「クリエイティブ」「相手に伝える力」ような、教科横断的な資質・能力を明確にすることで、職員だけでなく、保護者や地域の方も、その最上位の目標を達成するために、自分たちは何をすべきを考えることにつながると思いました。

授業から学ぶ

6年生算数では、子ども達は問題を見た後、前時の問題と比較することで、本時の「めあて」を自ら設定していました。そのため、コンパスや分度器を自由に使い試行錯誤しながら、自ら課題解決に向かっていました。

4年算数は、自分が考えをタブレットを使い表現していました。その後の協議や学習をスムーズにするため、やり方によって背景の色を変えるなど、ICTの良さを生かした内容でした。

お二人共に、このような実践を日常的に行っているからでしょう、子ども達は確実に本校の学校経営の重点（目標項目）に近づいていると感じました。今後は、より効果的な学び合いの在り方について、前例踏襲ではなく改革的な実践を行うことを期待します。



NO.351 2022年11月 大分市立松岡小学校

まなぶ

まねることからやってみる。でも、上手くはいかない。繰り返すことで、次第にできるようになる。



NO.352 2022年11月 大分市立松岡小学校

つたえる

否定せず、笑顔で聴いてくれる友達がいるから、安心して自分の思いを発言できる。



NO.353 2022年11月 大分市立松岡小学校

おもいやる

説明するときは、相手の目線に合わせて、丁寧に伝える。受ける人は、笑顔で共感的に聴く。



NO.354 2022年11月 大分市立松岡小学校

がんばる

学んだ事を思い出し、自分の力でやってみる。できたら違う方法も考える。時間いっぱいがんばる。



朝、教室に入ってきたとき「おはよう！」